



号者局 45頁 発行 第5号

平成10年11月20日 木 武 一 所 出 版 平 金 市 3700-3457

用賀・馬事公苑

用賀地域のてくたこコース... 飯田 恭次

コースの正式名は用賀・馬事公苑コース、石標設置場所は三十三ヶ所

馬事公苑コース、石標設置場所は三十三ヶ所... 用賀駅を中心

このてくたこコースづく

りには玉川地域活動団体連絡協議会... 用賀・馬事公苑コースが加わり



用賀商店街五十周年

用賀商店街も五十周年を迎えました... 昭和二十二年に、大山通りを中心

創刊15周年

区立瀬田四丁目広場

宮腰 郁朗

瀬田四丁目目八月十三日... オートンした広場と建物についてご紹介

(管理者)

浦中中学校創立五十周年

浦中中学校 浅川 一栄

昭和二十三年に二子玉川中学校と桜町中学校を統合して瀬田中学校が創立

この五十年に至るまでに、瀬田中学校の生徒達に對しまして、学校、PTA保護

これからの生徒達が何事に對しましても感謝の気持ちを忘れず

玉川のまち

市町会会長 鈴木 和夫

このほど、松本三郎さんの後を受けて玉川町会をお預かりする事になりました



時事小唄

立ちばなし物語

鈴木 武一

寂・コスモスの寂すぎて... 異常現象の豪雨禍でみんなガッカリ

何とかが成ってる頃なのに一向どうにもなりません

売れない、買わない、求めない... デパート・スーパー、商店街

この世は暗いまっ最中... あ、た明かいこのニョース

長身ニッポン ありがとう... みんな元気で生活してる

アラ日が暮れるサヨナラ... 21世紀

“ひろば”ご希望の方は 用賀出張所 においでありますので どうぞ

回覧

郷土紹介

碓大塚

環状八号線の上にかかる大型歩道橋、碓パークアリッジを渡って、左側の遊歩道を進み、しばらく行くと野球場の先、木立の中に、こんもりとした小さな塚が見えて来ます。これが「碓大塚」です。

直径二十五米、高さは四米程度の塚で、もとは、ここより約五十米位南にあったのですが、東名高速道の東京進入路用地に当たってしまった為、昭和四十二年現在の場所に移し、原型のみ復元したものです。

元の位置にあった碓大塚は古墳と考えられていた時期もあり、昭和三十四年に

国学院大学の考古学研究室により学術調査が行なわれました。その結果、碓大塚は古代の遺跡ではなく、鎌倉時代か室町時代に、佛教の修法の為、築かれた塚である事が判明しました。

塚の出土品は土製のお皿（かわらけ）や銅銭等で、現在小金井公園内の武蔵野郷土館に収蔵されています。

かつて、この塚の脇に下駄をぬぎ、周囲を三回廻ると、その下駄が無くなるとの言い伝えがあり、近所の子ども達が試したこともあったそうです。

そして、この塚から北の方一帯を人々は「大塚原（おつかばら）」と呼んでいました。



晩秋の碓公園

瀬田三由 佐野 穂子

日々姿を変えながらも常に美しい景観で私共を包み込んでくれる碓公園。どんぐりが落ち、樹々の葉が色づき、落ち葉が舞い落ちるのも間もない事でしょう。

その公園の一角に世田谷の誇る美術館が建てられたのは、十数年前になります。「区民に開かれた美術館」をコンセプトにして努力してこられたおかげで、区民の心のオアシスとして、又、美術愛好家の拠点としてその地位が確かなものになってきました。

随想

世田谷美術館の近くに、住んでいられる幸を、くづく感じます。

その幸せを分かち合い、次代に受け継いで行きたいものと、文化の香りを仲間と一緒にコミュニケーション活動に今日も取り組んでいます。



折り紙と私

高橋 早苗 仙波 桂子

昔の女学生仲間が時折り集っているうちに、教えて貰ったのが千支の馬でした。子供の頃覚えてたのとは違った色々なものが出来上がり、以来すっかりとりこになってしまいました。

折り紙大好き人間の帝として、新しく覚えたいものをすぐ人様に披露するといふ悪い癖が、当時玉川台区民センターコミュニティの会の世話人の端

しくれとして皆様に目につけなければならぬ、地域の外国の方との交流を持ち、夏休みの親子の折り紙講座に参加したりいたしました。

現在は、毎月第三木曜日に区民センターに好きな人が集まっております。

最近の紙の種類の多いこと、正方形ばかりでなくA4判の紙で折ったり、包紙が面白い雰囲気を演出してくれたりします。

折り紙のテクニク一つ一つは唯折ることから始まります。道具もいらず誰でも、一人でも、何時でも、というのが強みでしょうか。高齢者の方が入院された時など、何となく折って喜ばれた事もありました。

新しいことを習い、又教えたり、まるで自転車操業の様で、なかなか創作する域には達しそうにはありません。

トビックス

秋が町のエフエム放送

区民相互のコミュニティ意識を育てるーそんな役目を担って7月30日、用賀駅近くのビルに開局したエフエム世田谷。地域に密着した情報提供をモットーに、公募による情報特使が取材し番組を作る区民参加型の放送局です。また災害時には地元の被害状況をいち早く提供できるのも地元の放送局ならではの、たまにはラジオの回線を834MHzに合わせてみませんか。

9月1日、国道246号線バイパス高架下に駐輪場がオープン。収容台数は自転車980台、バイク(50cc以下)42台ですが、現在は募集と同時に満杯に。ニ子玉川園駅周

の放電自転車問題解決に向けて、わずかながら前進の気配が。



今年は異常気象だった為紅葉が遅れている様です。昭和五十八年十月コミニ紙紙ひろばが誕生しました。今回のテーマも創刊15周年「晩秋号」として、さまざまな立場で皆さまに語っていただき、ひろばは四十五号となりました。

次号ひろばは来春おめにかかります。お楽しみに。(高橋 澄)

